

(概要版)

小学校音楽科の鑑賞領域における 音楽のよさを感じ取り味わって聴く児童の育成 —3段階の学習活動に交流の活動を取り入れて—

長期研修員 木暮 潔

研究の概要

本研究は、小学校音楽科の鑑賞領域において「音楽のよさを感じ取り味わって聴く児童の育成」を目指し、児童が「知覚する」「感受する」「味わう」の段階を踏みながら、音楽の聴き方を学ぶ手だてを工夫したものである。

音楽を聴いた初めの印象が、どの「音楽を形づくっている要素」と関連があるのかを考え、曲の特徴をとらえたのち、それと友達のとらえた「曲の特徴」や「曲想」を交流しながら聴き取りを深めていく活動を行った。

特に、音楽を専門としていない先生や、毎日が忙しい学級担任の先生に、無理なく、安心して鑑賞の授業に取り組んでもらえることを念頭に、研究を行った。

毎日いろいろ忙しくて…

鑑賞って、退屈…

また、音楽を聴いて感想文か…

音楽は、専門じゃないし…

鑑賞の授業って、どうやればいいのか？

鑑賞の時間ってあまりないなあ…

現状と課題

音楽科の課題

- ・歌唱の活動に偏っている。特に創作と鑑賞の充実をする。
- ・児童が、音や音楽を知覚し、感性を働かせて感受することを重視する。

音楽科の現状(教師側)

- ・音楽を形づくっている要素を聴き取ることのできるよう指導している教師が少ない。
- ・音楽科の指導を苦手と感じる教師が多いとともに、力を入れて研究している教師が少ない。

音楽科の現状(児童側)

- ・曲の雰囲気、気分、表情などを醸し出している「曲想」と、音楽を形づくっている要素の働きとの関連の理解が不足している。そのため、知覚や感受が浅く、音楽をよく聴きたいと思っているのに、音楽を十分に味わえていない。

実践

目指す児童像

音楽のよさを感じ取り味わって聴く児童

* 具体的には、音楽から醸し出される様子や雰囲気を基に自分なりのイメージを持ち、それを想像しながら音楽を聴く児童

想像の絵が、アニメのように頭の中に流れてきました。

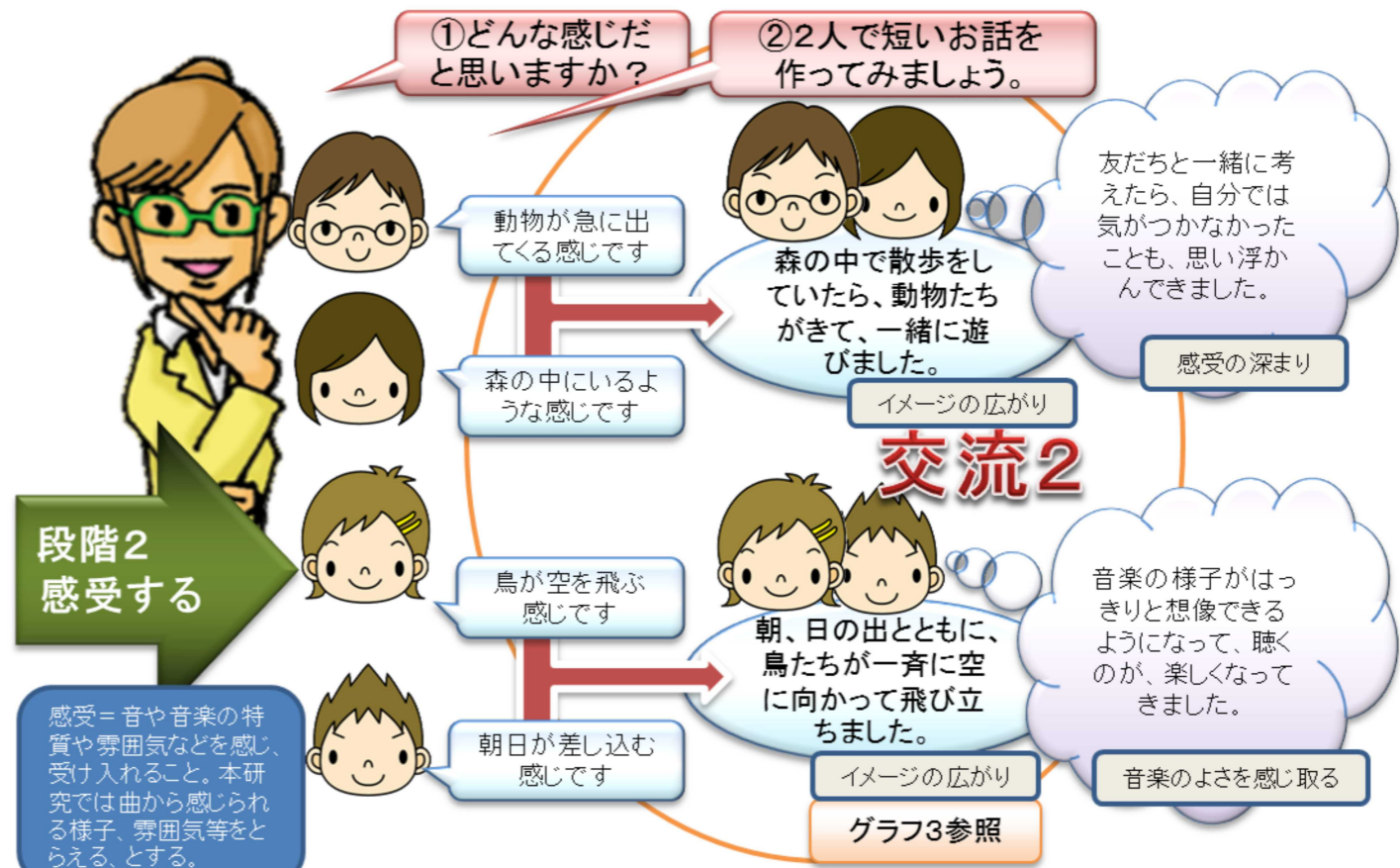
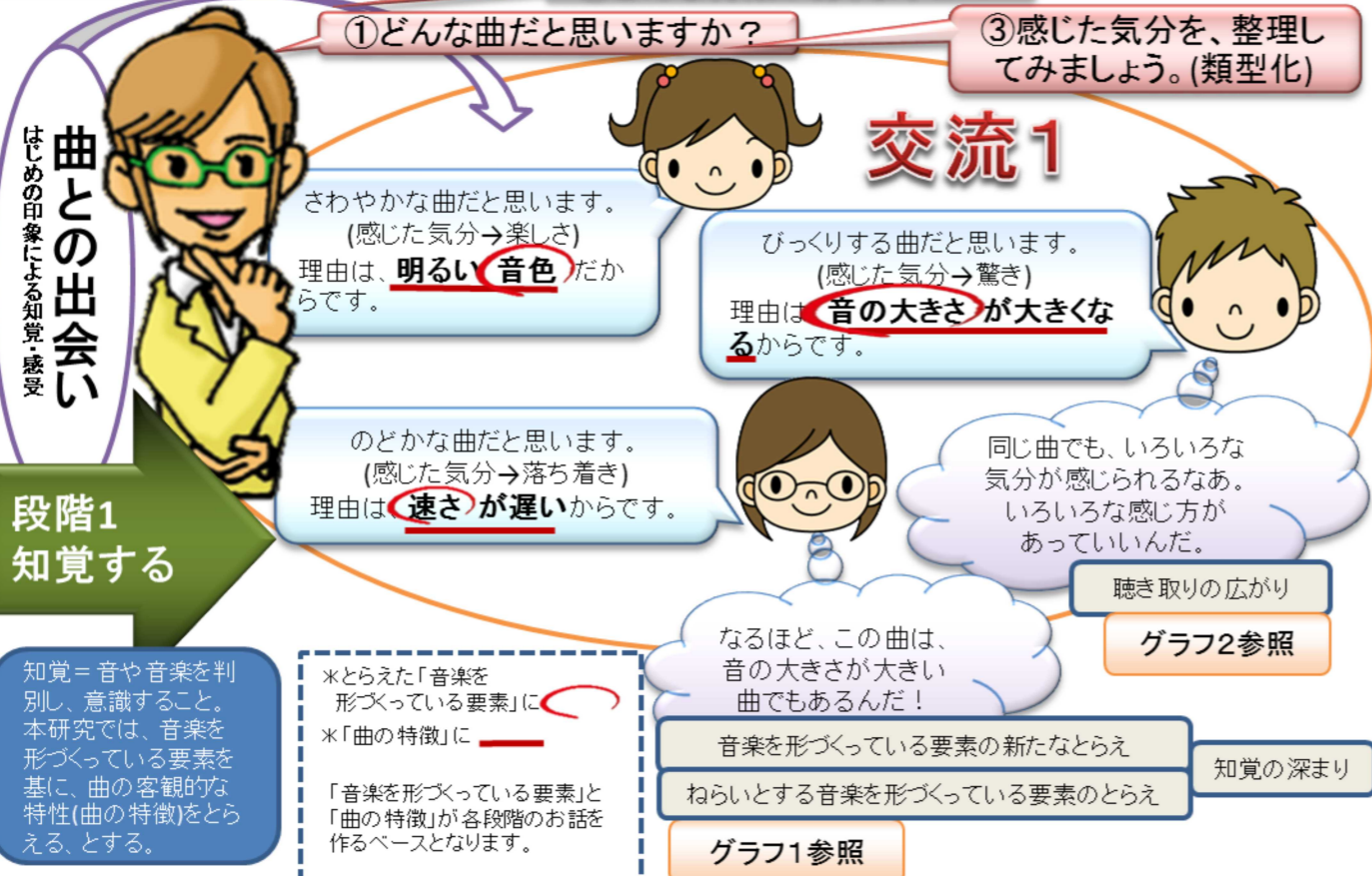
子どもって、こんなに想像力が豊かなんだ！

音楽が苦手な私にもできた！

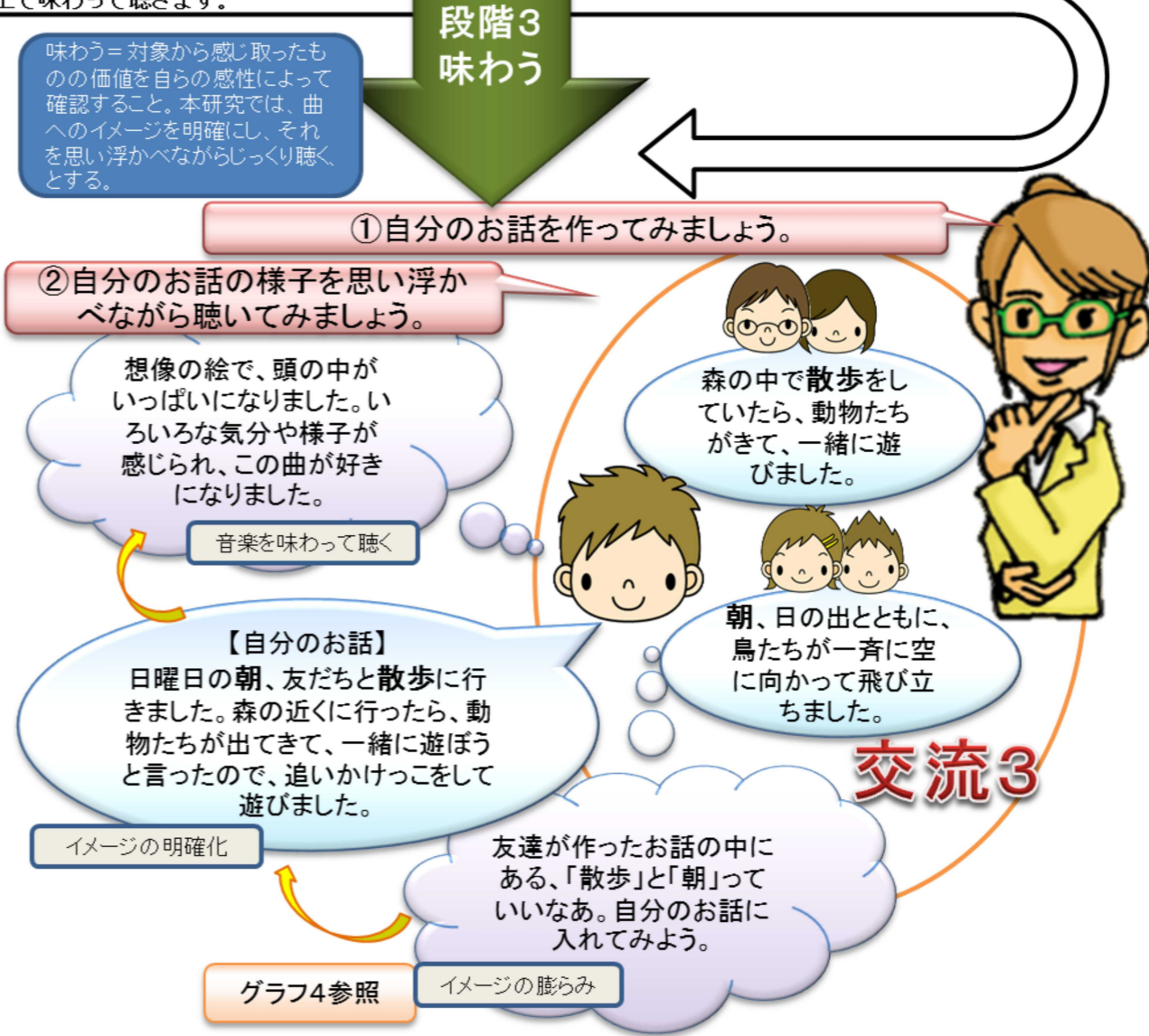
鑑賞の授業が、楽しくなりました。

だんだん、この曲のことがわかっていくような気がしました。

どの学年でも使えそう。来年ほかの学年担当になっても大丈夫！



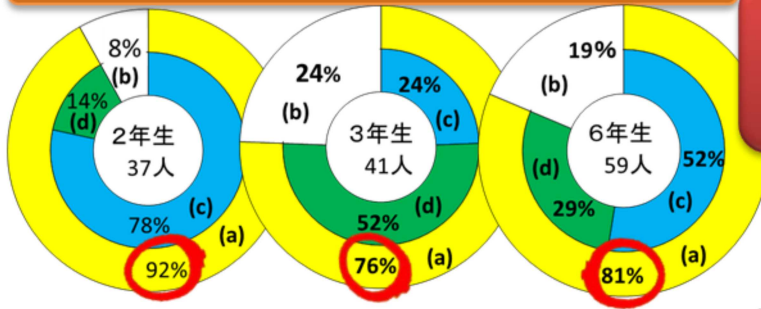
共通事項を支えとして知覚し、それをベースとして音楽から感じるイメージを広げて感受を深め、イメージを明確にした上で味わって聴きます。



交流の活動の有用性

*ワークシートの記述内容による確認

グラフ1 ねらいとする音楽を形づくっている要素のとらえ

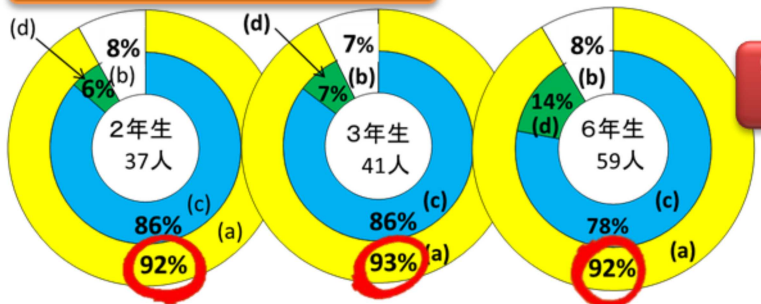


76%以上の児童が、ねらいとする音楽を形づくっている要素をとらえました。また、交流1により、要素をとらえた児童もいました。

- a)ねらいとする要素をとらえたことが確認できた。
- b)ねらいとする要素をとらえたことが確認できなかった。
- c)交流前にねらいとする要素をとらえたことが確認できた。
- d)交流前には確認できず、交流後にねらいとする要素をとらえたことが確認できた。

実践授業におけるねらいとする音楽を形づくっている要素
2年:強弱 3年:問いと答え 6年:音色、変化、反復

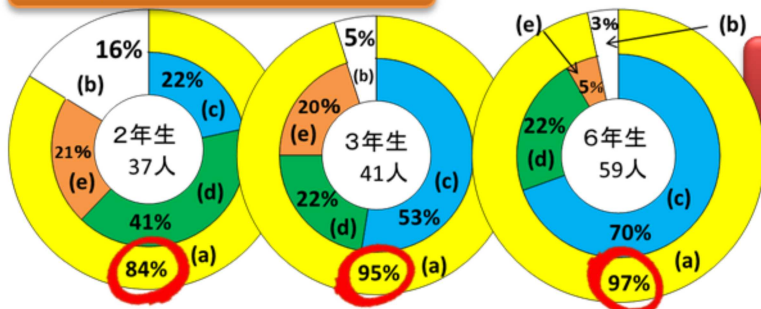
グラフ2 聴き取りの広がり



92%以上の児童に、聴き取りの広がりが確認できました。

- a)聴き取りの広がりが確認できた。
- b)聴き取りの広がりが確認できなかった。
- c)段階1用ワークシートで聴き取りの広がりが確認できた。
- d)段階2用ワークシートで聴き取りの広がりが確認できた。

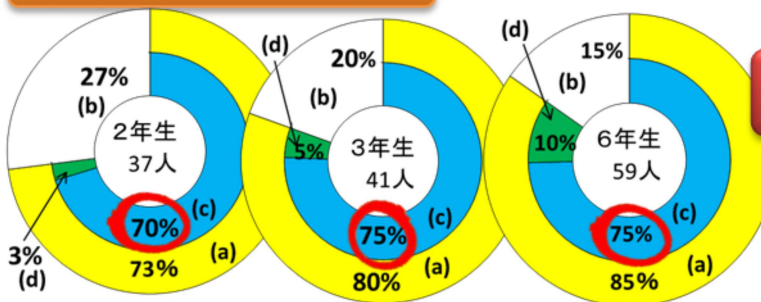
グラフ3 イメージの広がり



84%以上の児童が、交流2でイメージを広げました。

- a)イメージの広がりが確認できた。
- b)イメージの広がりが確認できなかった。
- c)2人のイメージを合わせたイメージを作った。
- d)2人のどちらかのイメージを膨らませたイメージを作った。
- e)新しいイメージを作った。

グラフ4 イメージの膨らみ



70%以上の児童が、交流3でイメージを膨らませました。

- a)イメージの膨らみが確認できた。
- b)イメージの膨らみが確認できなかった。
- c)交流3によるイメージの膨らみが確認できた。
- d)イメージの広がり、交流3の形跡が確認できなかった。

成果と課題

成果

3段階の学習活動に交流の活動を取り入れたことは、次のように有効であった。

- 曲との出会いの時の初めの印象による知覚・感受から、「知覚する」、「感受する」、「味わう」の段階を追うことによって、音楽を味わって聴く方法を身に付けさせることができた。
- 交流の活動により、自分ではとらえられなかったとらえ方を知り、聴き取りを広げることができた。
- 交流の活動により、様々な感じ方があることを知り、自分の感じ方に自信がもて、自分なりのイメージを明確にもつことができた。

課題

- 自分のお話を作る場面で、イメージが次から次へと湧き出て、お話作りを終えることができない児童がいた。また、最後の音楽を聴き味わう場面でも、新たに湧き出るイメージを書き記したい思いでワークシートにお話を書きながら音楽を聴く児童が見られた。児童の意欲を大切にしながら、まとめ方を工夫する必要がある。